

平成19年10月発行



神奈川病院 広報誌

神奈川病院だより

第21号



独立行政法人 国立病院機構 神奈川病院の理念

基本理念：私たちは、地域の皆様から信頼される病院づくりに努め、常に新しく良質な医療の提供をいたします。

統括診療部長 前島 潔

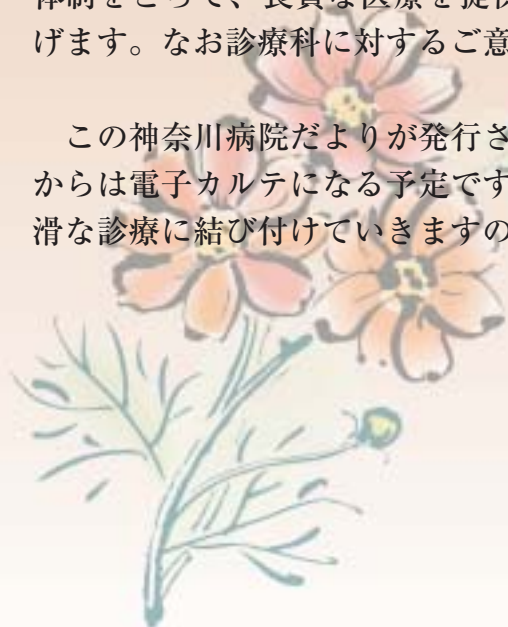
統括診療部長に就任して

7月1日付で統括診療部長に就任いたしました。平成14年3月にこちらに転勤となり5年半が経ちましたが、今では遠距離通勤にも慣れこの山に囲まれた静かな環境をととても気に入っております。



さて、近年医療を取り巻く環境は非常に厳しくなっており、とりわけ医師不足が深刻でマスコミでも多く取り上げられるようになりました。特に地方の基幹病院の勤務医が不足しており、当院も例外ではありません。これには臨床研修制度の導入や女性医師が増えて出産や育児で職場を離れるなどいくつかの原因がありますが、過酷な勤務を強いられることや中堅医師の開業志向も大きな原因であると言われています。先の参議院議員選挙でも各党が医師不足対策のマニフェストを出したり、国も医学部の定員増や医師不足対策を实践する病院に補助を出す等の案を出していますが、今すぐの解決に結びつくようなこれという改善策がないのが現状です。このような現状を踏まえて当院としては医師の確保に努力しつつ、地域の皆様にご迷惑がかからないよう各診療科と協力体制をとって、良質な医療を提供できるよう努力していく所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。なお診療科に対するご意見、ご要望等がございましたら遠慮なくお聞かせください。

この神奈川病院だよりが発行される頃にはオーダーリングシステムが導入されています。来年4月からは電子カルテになる予定です。導入当初は多少の混乱が予測されますが、1日も早く慣れて円滑な診療に結び付けていきますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



オーダリングシステム導入について

当院は、独立行政法人に移行から4年目を迎え、この度10月よりオーダリングシステムを導入することとなりました。

オーダリングシステムとは、今まで紙に手書きしていた伝票・処方箋等を医師がコンピュータに入力(オーダー)することによって、コンピュータ・ネットワークを通じて担当する看護師・技師にオーダーを伝えるシステムです。

コンピュータでの入力となるオーダリングシステム導入により、診察・検査・会計等が迅速に行えるようになり、待ち時間の短縮につながると考えております。

また、オーダリングシステム導入に伴い、従来、全ての患者さんは外来受付で受付を行っていましたが、ご予約の患者さんについては「再来受付機」での受付となります。再来受付機で受付をされますと、受診票が発行されます。

10月1日からの外来受診のながれは下記のとおりです。

記

受付は、8時15分より開始します。

(窓口は8時30分より)

**予約のある患者さん
(診察・検査)**



再来受付機

再来受付機に診察券を
入れてください。

**初診の患者さん
予約外の患者さん**



窓口案内システム

整理券をお取り下さい。
順番に受付を行います。

各診療室・検査科・放射線科

(各科診察室) 受診票の番号をお呼びしますので、診察室へお入り下さい。診療室で、受診票をお見せ下さい。

(検査科・放射線科) 受診票をお見せ下さい。順番になりましたら、受診票の番号でお呼びします。

会 計 窓 口

受診票をお出し下さい。順番になりましたら番号でお呼びします。

領収書、予約票、院外処方箋(院内処方の場合はお薬引換券)をお取り下さい。

帰 宅

アレルギー科(小児)よりお知らせ

気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなどのアレルギー疾患は、年々増加傾向にあり、症状が改善せずに困っていらっしゃる方も多いと思います。

しかし、喘息とアトピー性皮膚炎に関しては、いくつかの注意点を実行し、条件がととのえば、“治しきれる”というところまで治療が進歩してきました。どんな重い症状の方であっても、一枚一枚ヴェールをはがすように正常へ近づいていきます。

その治療内容は、病気をお持ちのお子さんご自身とご両親が行うパートが多いものですから、お子さんとご両親に“治す腕”を身につけていただけるかどうかで、治療効果が左右されます。そこで“治す腕”を身につけていただくために、わかりやすく実行しやすい治療法教室を開くことになりました。

毎週木曜日の午後2時から1時間かけて、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーの中から、その日来られた患者さんにあわせて治療法についてお話ししながら、質問をお受けいたします。どうしても越えられない難問、素朴な疑問などをもって参加してください。できるかぎりお答えしたいと思います。ぜひアレルギーを治しきって、健康と安心を手に入れましょう。

気管支喘息治療概念；図の中央のように喘息発作が治まっても気管支粘膜は腫れています。これを直すと発作が起こらなくなります。

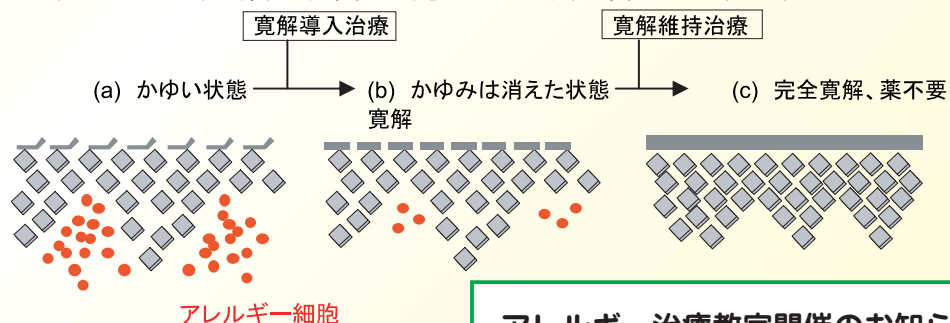
喘息発作
気管支粘膜はただれていて、
外側の筋肉が収縮を起こしている

喘息発作のないとき
気管支粘膜は腫れたまま

正常気管支へ
気管支粘膜は腫れが消えた



アトピー性皮膚炎治療概念；治療でかゆみが消えたあとも、アレルギー細胞は少し残っています。これを寛解維持療法で完全になくす方法もあります。



アレルギー治療教室開催のお知らせ

毎週木曜日午後2時から3時まで
ご希望の場合は、下記までご連絡をお願いします

神奈川病院 地域医療連携室
TEL 0463-81-1784 FAX 0463-81-1785
Eメール irenkei@kanagawa.e-doctor.info

病棟紹介について

手術室

当院の手術室は中央材料室と隣接しており、一貫した管理を行っています。
中央材料室では、処置・治療・看護に必要な衛生物品の管理を行い、安全で清潔な物品を各部門に供給しております。

手術室には、8名のスタッフが勤務しています。近年、医療技術の進歩に伴い、ハイリスクや高齢者に対する手術の適応も拡大しており、手術件数が増加しています。そのような状況の中、私達はいかに看護の質を落とすことなく、より幅広い知識・技術を習得できるように、日々自己研鑽に努力しております。手術室では術前訪問を行う時、手術中に自らの意思決定が出来ない患者さんの立場に立ち、少しでも不安が軽減できるように接しております。そして病棟看護師と連携し、円滑な手術の実施及び継続した看護に役立てております。手術当日は、患者さんを笑顔で迎え、手術中は最適健康状態が維持されるようこころがけた援助を行っています。

安全・安楽・安心な手術を患者さんに提供できるよう、そして親しみやすい手術室をめざして、今後も努めていきたいと思っております。



透析室

当院の透析室はベッド数10床で運営されており、平成18年度は約3700件の血液浄化を行いました。透析スケジュールは月・水・金は午前と午後の2クール、火・木・土は午前中1クールとなっています。当院の透析室は関東信越地区で唯一の結核入院患者さんの透析可能な施設であり、広く神奈川県外から患者さんの受け入れをしています。内シャント（血管）トラブルや結核、整形外科の入院患者さんなど他院からの紹介や要請にも応えられるよう努力しています。地域の外来透析患者さんも受け入れており、緑に囲まれた穏やかな環境の中、待ち時間を少しでもなくそうとスタッフ一同、心がけております。透析ライフが快適に送れるよう、医師・臨床工学技士・看護師・栄養士・臨床検査技師・ソーシャルワーカー等、病院職員一丸となって取り組んでいます。透析に関しての悩みや疑問などなんでもお気軽にお尋ね下さい。



地域医療機関紹介

山口医院

院長 名 山口 善文 診療科目 内科・小児科
所在地 秦野市並木町1-29 電話番号 0463-88-0020
診療時間 AM 9:00~12:00 PM 4:00~7:00
休診日 日・祝日・木曜午後・土曜午後



当院は、平成2年9月にJA秦野西支所の隣に開業しました。開業当初より診療時間を午前と午後の間を4時間とっています。その間に学校健診や予防接種、時々往診に当てようと思いました。現在は、集団予防接種はポリオ、小学校や幼稚園の健診で年3~4回学校へ出かける程度です。

その間に介護保険が導入され、特に在宅医療は大きく変化し、胃ろう、気管切開、酸素療養、人工呼吸器など自宅で治療継続され、週に3~4日は訪問診療に間に時間を取り、訪問看護ステーションと連携とりながら診ておりますが、発熱、脱水など状態が不安定なときなど在宅で治療困難な時に、また通院患者さんの諸種の精査や治療、入院などが必要なとき医療連携機関のひとつに神奈川病院があり地域医療連携室ですぐに対応してもらい感謝しております。またMRIや内視鏡検査の予約や診療予約が多いにもかかわらず、大変無理を承知で頼みし、お受けくださりありがとうございます。

今後もいろいろとご迷惑をおかけするかとおもいますが、患者さん皆さんや開業医のためよろしく願っています。



こが 古閑医院

院長 名 古閑 俊浩 診療科目 内科・小児科・アレルギー科
所在地 秦野市柳町1-4-12 電話番号 0463-88-0030
診療時間 AM 8:30~12:00 PM 3:00~6:00
休診日 木曜午前・土曜午後・日曜・祝祭日



当院の場所は、渋沢駅北口を西に100m程行った所にあります。小田急線の最高地点、標高150mに位置し、私が生まれる前の昭和30年に開業しました。秦野赤十字病院小児科に12年間ほど勤務医として働かせて頂き、平成12年4月に古閑医院の副院長として入りました。父と2名で診療していたため、土曜日午後、日曜日午前も診療していましたが、平成18年10月に、85才迄働いた父が引退したため、土曜日午後、日曜日の診療は中止としました。

私の診療姿勢は、病診連携、診々連携、訪問看護ステーション、医療をサポートしていただく方々と連携することです。患者さんの中には、40年以上前より当院とかかわりを持ってられる方も少なくないため、訪問診療、往診の必要性を感じ積極的に行っています。

家庭医として、患者さんに必要な医療機関への紹介も行っています。そのため、神奈川病院を始め近隣の医療機関には、専門医の紹介、入院、各種検査などで利用させて頂いています。今後もお世話になった地域の人々の恩返しとして、微力ですが地域医療を支えて行きたいと考えています。



重症心身障害児(者)病棟の行事について

療育指導室 主任保育士 柳澤美恵子



重症心身障害児(者)病棟は、昭和46年に医療法と児童福祉法に基づく病棟として重度の肢体不自由と重度の知的障害を併せ持った障害児(者)の治療と生活の場として開棟されました。現在も長期の入院生活のため、できるだけ豊かで潤いのある生活を送ってもらうように、日常生活に変化を持たせた療育活動と季節感を味わってもらえるような行事活動を年間通して計画しております。



行事活動は、家族や地域のボランティア等多くの人との触れ合いを通して、日々の生活に楽しみと活力を感じてもらえるようにしております。観光バスを利用して箱根の芦ノ湖の海賊船に乗ったり、横浜みなとみらいで食事や買い物を楽しんだりして、病院と違った環境を楽しむ社会見学や、病院でのお花見や七夕、毎年天気予報と相談しながら婦人会の盆踊りを見ながらの花火大会、日頃の生活では味わえないお祭り気分での秋楽祭は、家族と一緒におやつを食べながらの演芸・生演奏の鑑賞やゲーム大会、年末には一年を振り返って家族や職員と楽しむお楽しみ会、厄を払う節分や、ひなまつり会など季節ごとに楽しめる行事を病棟内で行って



おります。毎月の行事として家族や職員そして多くの利用者で賑やかに祝いをする誕生会や、療育活動の中では簡単なおやつを季節も感じられるメニューで味や香りと調理の雰囲気が感じられるように手作りで楽しむホットの会などを行い、利用者が日頃見せないひととき違った笑顔を引き出せるように療育活動や行事の企画運営を行っている



のが療育指導室です。そして、利用者は様々な行事の中で日々の生活とはまた違う笑顔を見せてくれています。



近年は、医療的に重症な利用者が多く、院内での行事でも医師が立ち会い、看護師が吸引器などの医療機器を操作しながらの参加といった状況になりました。院外行事の社会見学では利用者に異常事態があつては大変ですから、必ず医師が付き添い緊急事態に備えておりますし、看護師は利用者の様子を看ながら援助にあたります。

病棟関係者は日々、利用者の笑顔に励まされ治療と日常生活の援助に努めております。





神奈川病院の野鳥

院長 森 壽 潔

世界中には8000種を越える野鳥が生息していますが、日本に生息する野鳥は580種強に過ぎません。丹沢山麓に存在する神奈川病院の周辺には緑が多く残されており、観察できる野鳥の数はおそらく県内でも最高レベルだと思われます。定点観察をした訳ではありませんので、確かなことは言えませんが、恐らく80種前後の野鳥が、居ながらにして観察できる筈です。



メジロ



ウグイス

幸福の青い鳥などと言うと、童話の話だと思われるかもしれませんが、実際にも見ることが出来ます。春4月頃になるとオオルリという青い鳥が東南アジアから渡ってきて、素晴らしい声で囀ってくれます。冬になるとルリビタキという青くて、とても可愛らしい鳥が高山から低地に降りてきます。これらの鳥はいずれも、神奈川病院の敷地内でも観察することが出来る筈です。

もっとも青い鳥を見つけたら幸福になれるか（早く健康を取り戻せるか）どうかは、別の次元の話かもしれませんね。

“素晴らしい自然環境の中での野鳥との共生”をテーマとする病院、あまり聞きなれない言葉ですが、日本にもそんな夢を実現しようとする病院が一つぐらいあっても良いのではないのでしょうか？



シメ

そんなことを考えながら、平成19年2月20日に

病院の広大な敷地の一部にシジュウガラ、ヤマガラ用の巣箱を試験的に5個設置しました。今回は極力患者さんたちの目にとまるような場所を選んで巣箱を設置しました。

今後はもっと野鳥を呼び寄せるために、水飲み場の設置、鳥が好む実のなる木の植樹（ピラカンサス、グミ、ネズミモチ、クロガネモチなどは挿し木で対応可能か）、



シジュウガラ

餌が不足する冬場に餌台を設置する、キビタキやフクロウやキツツキ用の巣箱を設置するなど、一つ一つ手を打って行きたいと思っています。

次ページへ→

神奈川病院の野鳥

前ページから→

野鳥は生態系のなかの一つのファクターで、野鳥が住みやすい環境は人間にとっても住みやすい環境の筈なのです。最近丹沢でも、ブナの立ち枯れや、シカの増えすぎによる食害などが話題になっております。

そして、従来の雑木にかわって、杉やヒノキが植林されています。こうした木には野鳥が巣を作るような洞などが少なく、野鳥の繁殖場所が狭まって来ています。巣箱の設置はこうした状況を補うためにも必要なものだと考えています。



コゲラ



巣箱

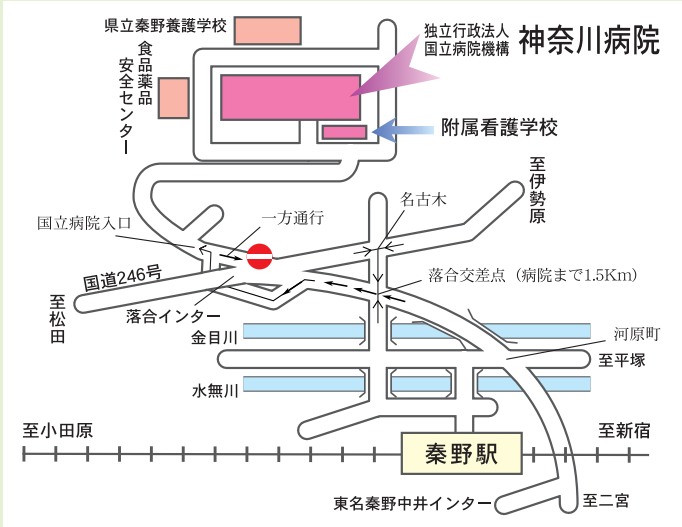
特別に鳥に興味がない人でも、野鳥の姿をみて、不快だと思う人はまずいないだろうと思います。美しい野鳥の姿を見たり声を聞いたり、野鳥がヒナを育てる姿を目にすることで、患者さんが、少しでも癒される気分になっていただければ幸いです。



各科診療担当医表						平成19年10月1日現在	
科別	曜日	月	火	水	木	金	
一般外来	総合内科	齊藤(真)	前 島	前 島	前 島	齊藤(真)	
	腎臓内科		前 島	前 島	前 島		
	循環器内科	亀 崎	吉 田	松崎(秀)	亀 崎 藤 井	吉 田	
	呼吸器内科	大久保		宮 本 9:30~	布施川	大久保	
	消化器内科	齊藤(真)				齊藤(真)	
	神経内科			森 田		大 友	
	心療内科 精 神 科					松崎(淳)	
	小 児 科	萬 木 石 山 渡 辺 14:00~(予約制)	齋藤(暁)	野 村 渡 辺 午前・午後 14:00~(予約制)	野 村 渡 辺 9:00~ 石 山	萬 木 齋藤(暁)	
	アレルギー科 (小児)	萬 木 渡 辺 14:00~(予約制)	齋藤(暁) 萬 木 午 後	野 村 渡 辺 14:00~(予約制) 第2・4予約接種	野 村 渡 辺 9:00~	萬 木 齋藤(暁)	
	外 科	櫻 井	当番制	徳 原	当番制	櫻 井 水	
	消化器外科	櫻 井		徳 原		櫻 井	
	呼吸器外科			加 勢田 柿 崎		加 勢田 柿 崎	
	脳神経外科		齋藤(良)		市末 寄		
	整形外科	山 本 10/1 10/15 草 三 山 宅	三 宅 高見澤	草 山 (神元) 装具外来	予約のみ	神 元 高見澤	
	泌尿器科		金 尾			田野口	
	皮 膚 科			川 崎			
	特殊外来	小 児 科 (アレルギー治療教室)				野 村 渡 辺 14:00~15:00(予約制)	
		成育心身医療科					松崎(淳)

※整形外科・山本先生は毎月2回不定期です。

案 内 図



小田急線「秦野駅」下車神奈川中バス④番乗場「国立神奈川病院」行
終点(所要時間約15分)

※車利用
東名高速道路「秦野中井」より約10分
◎矢印の方向へお進み下さい。●は進入出来ません。

編集担当者

統括責任者：市末 寄 潔
発行責任者：加勢田 静
編集責任者：徳竹 伸重
編 集：平山 瑛一
金澤 明子
鈴木 英美
益子 正美
菅橋紀美子
越後 朋彦
高浜美佐子